

## 「アテゾリズマブ+ペバシツマブの併用療法後治療解析」に関する研究

帝京大学ちば総合医療センター、帝京大学医学部附属溝口病院、帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間:2024年6月6日~2025年12月31日

### 〔研究課題〕

アテゾリズマブ+ペバシツマブ併用療法後の二次治療戦略と転帰

### 〔研究目的〕

アテゾリズマブ+ペバシツマブ併用療法後の二次治療について、実際に行われた治療選択とその予後を明らかにすることを目的としています。

### 〔研究意義〕

一次治療であるアテゾリズマブ+ペバシツマブの併用療法後治療を解析することによって、どのような患者さんに二次治療が可能であったのか判明するとともに、何に注意して一次治療を行えば良いかが明確になります。さらに、これらの検討結果は、二次治療法の選択において参考となります。

### 〔対象・研究方法〕

2020年9月から2022年12月までの期間、切除不能進行肝細胞癌でアテゾリズマブ+ペバシツマブ併用療法を用いて治療した患者さんが対象となります。

診療記録より対象患者さんの全身状態や腫瘍の状態、治療効果、二次治療法、予後を抽出して解析します。

### 〔研究機関名〕

帝京大学ちば総合医療センター、帝京大学医学部附属病院、帝京大学医学部附属溝口病院

### 〔個人情報の取り扱い〕

個人名やIDは個人情報を分からない様に加工され解析します。個人が同定されないように配慮します。得られた情報の保管および廃棄は「臨床研究における記録保管に関する標準業務手順書」に従います。

研究期間中は各院のデータ管理責任者がパスワードをかけた状態の入力用ファイルを、施錠可能な保管庫にて保管します。研究終了後はデータを倫理委員会事務局に提出し、帝京大学臨床研究センター(TARC)にて10年保管後廃棄します。

なお、研究途中でも情報提供の拒否を申し立てることができます。

対象となる患者さんで、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者:小尾俊太郎 職名:教授 所属:帝京大学ちば総合医療センター第三内科学講座  
住所:千葉県市原市姉崎 3426-3 TEL:0436-62-1211(代表) 内線 5085

研究分担者:浅岡良成 職名:准教授 所属:帝京大学医学部附属病院 内科学講座  
住所:東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211

研究分担者:菊池健太郎 職名:病院教授 所属:帝京大学医学部附属溝口病院 第四内科学講座  
住所:神奈川県川崎市高津区二子 5-1-1 TEL:044-844-3333